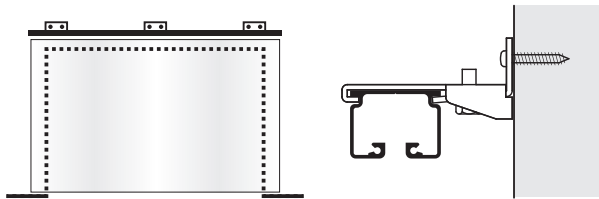


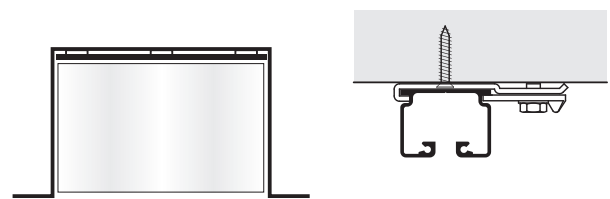
製品を設置いただく前に必ずご確認ください。

カーテンレールの取り付け方法

「壁面付け」 開口部全面をシートで覆い隠したい場合



「天井付け」 開口部内にシートを収めたい場合



※ブラケット(取り付け金具)を用いず、レールを直接固定する「直付け」方法はメーカー品質強度保証対象外となります。予めご了承ください。

※カーテンレールの取り付け箇所が十分な強度、荷重に耐えられる下地であるか事前にご確認が必要です。
下地が強度不足の場合、製品の落下による破損及び怪我等発生の恐れがございますのでご注意ください。

※取り付けネジは下地環境に合ったネジをお使いください。

推奨ネジ規格：「壁面付け」▷なべ頭4×20mm以上



「天井付け」▷皿頭4×20mm以上

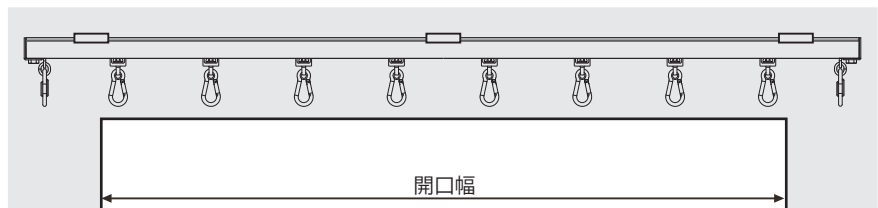


カーテンレールの寸法

「壁面付け」の場合

開口幅 +300 mm

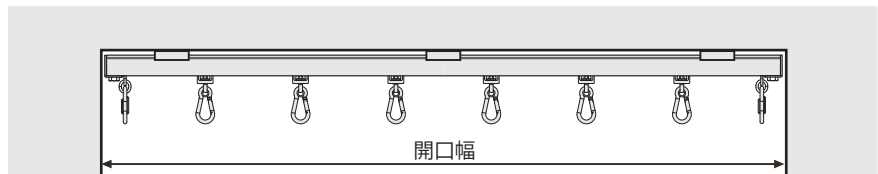
シート溜りの逃げ場を想定し両端+150mm程度
開口幅より長くします。(取付環境で調整してください)



「天井付け」の場合

開口幅 - 10 mm

開口幅と同寸法ではレールが納まらないため
約10mm程度短くします。



製造・販売元



HINAKA GROUP

Web <https://www.hinaka.co.jp/>

e-mail info@hinaka.co.jp



※製品改良の為、記載内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

[1] ブラケットを下地へ固定する (例) 天井付けの場合

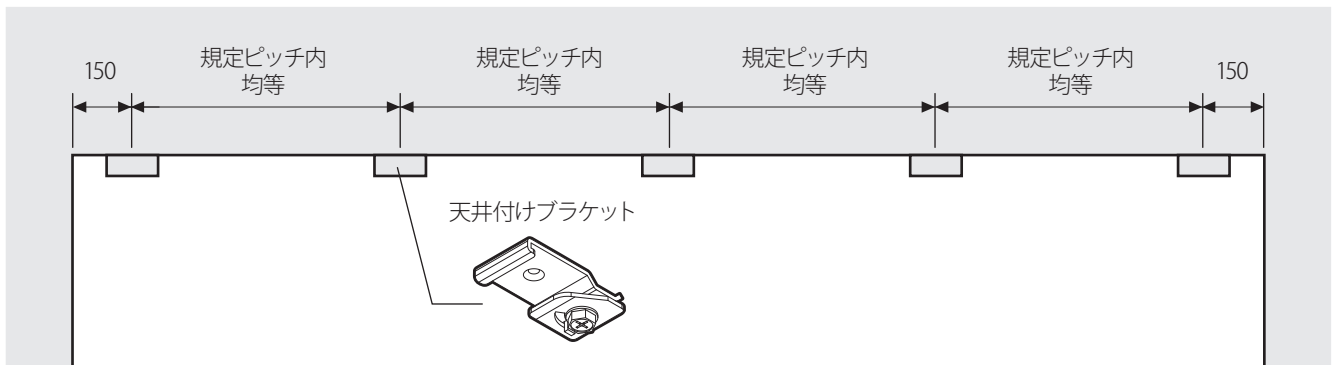
① ブラケットの取り付け位置をマーキングします。

両端は 150mm 空け、以降は以下規定のピッチ内均等になるようマーキングし、予め 隅出しをします。

※レクト24、レクト30 ▷600mmピッチ内

※レクト40、アルトライン ▷900mmピッチ内

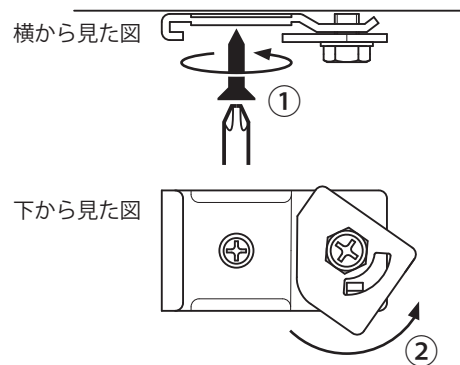
開口部を正面から見た図



カーテンレールがジョイント式の場合、ジョイント箇所の継カバー位置にブラケットは固定できません。
予めブラケットの位置を左右に移動するなど調整が必要です。

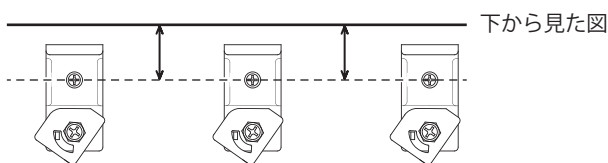
② ブラケットを下地へ固定します。

- 隅出しした位置にブラケットを固定します。
※下地に合った適切なネジを使用し推奨寸法をお守りください。
※下地がモルタルや鉄板の場合は事前に下穴処理が必要です。
- ブラケット後方のネジを緩めてレール固定板を右図のように予め左回転させておいてください。



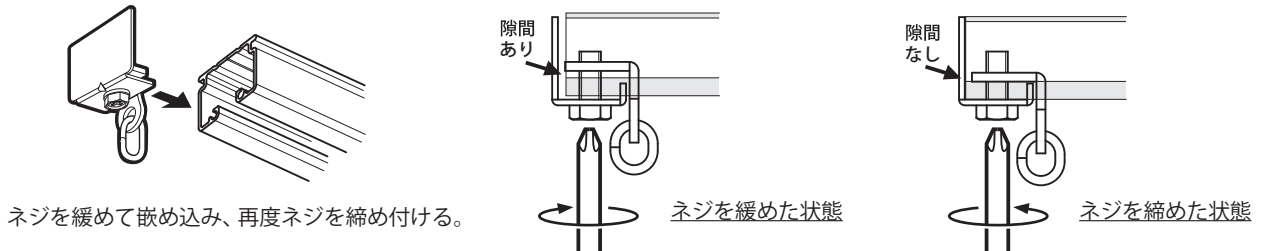
⚠️ 取り付け上の注意点

各ブラケットの前後位置が正確な水平が取れていないとカーテンレールをセットする事が出来ません。ご注意ください。

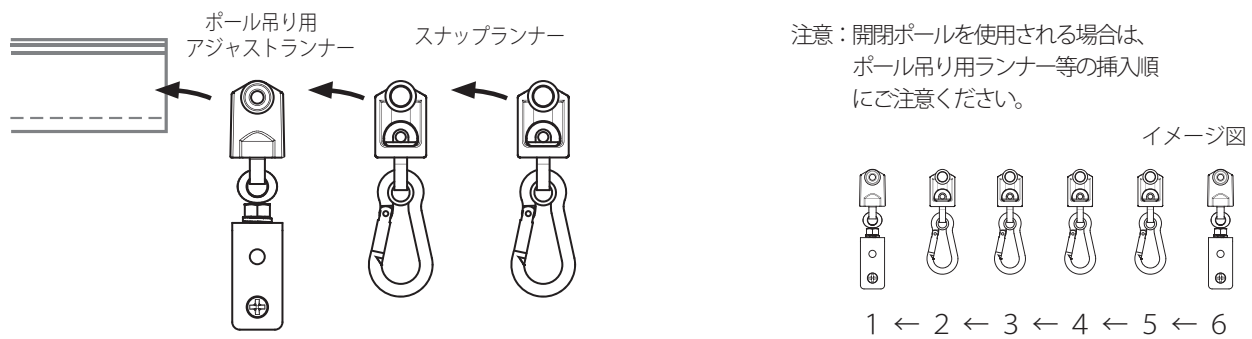


[2] カーテンレールを組み立てる

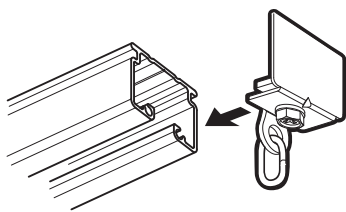
①カーテンレール端部の片側にエンドストップを取り付ける。(例) レクト 30 の場合



②カーテンレールのもう一方の端部からランナーを必要数挿入する。

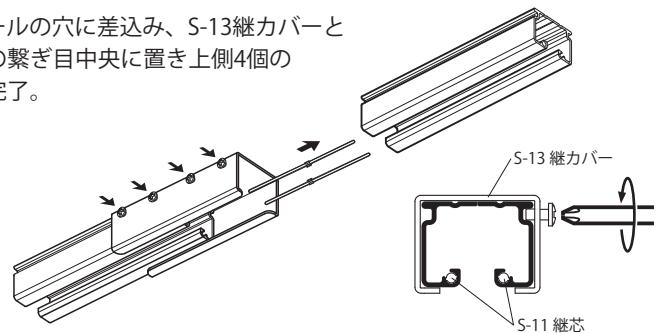


③最後にエンドストップを取り付ける。



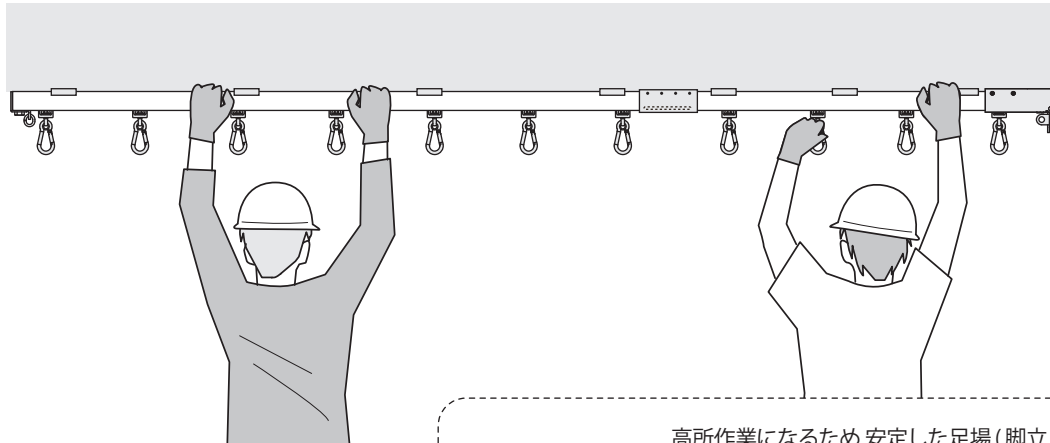
●カーテンレールをジョイントする場合

S-11継芯をレールの穴に差込み、S-13継カバーと同時にレールの繋ぎ目中央に置き上側4個のビスを締めて完了。



【3】カーテンレールを固定したブラケットへセットする

- カーテンレールを持ち上げ、ブラケットにセットする。



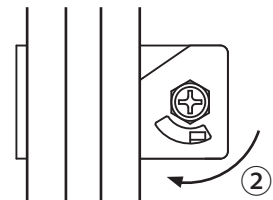
⚠ 注意

高所作業になるため安定した足場(脚立)、ヘルメット、手袋等を用意して行ってください。
また、安全のため必ず大人2名で作業を行ってください。

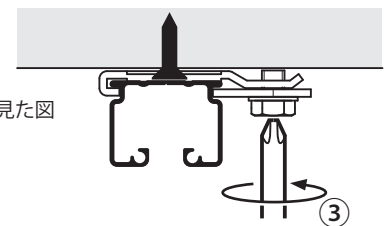
- ① ブラケット先端の爪にレール本体の上溝を合わせ埋め込みます。
- ② ブラケットのレール固定板を右回転させレール本体の上溝へしっかり差し込みます。差し込みが固い場合はネジを少し緩めると差し込みやすくなります。
- ③ 最後にレール固定板のネジをしっかり締め付けてください。



下から見た図



横から見た図



開閉ユニットを設置しない場合は、ビニールカーテンをスナップランナーに引っ掛け作業は完了です。
開閉ユニットを設置される場合は引き続き施工要領書をご確認ください。



【4】開閉ユニットの概要説明

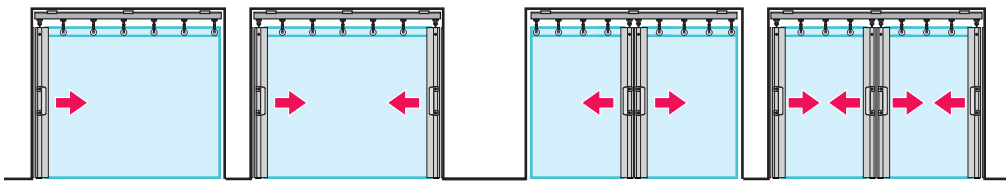
●ビニールカーテン+開閉ユニット

開閉操作性と密封性が向上し省エネ効果が高まります。

※ビニールカーテンのハトメ間隔は300mm以下です。

片開き

両開き



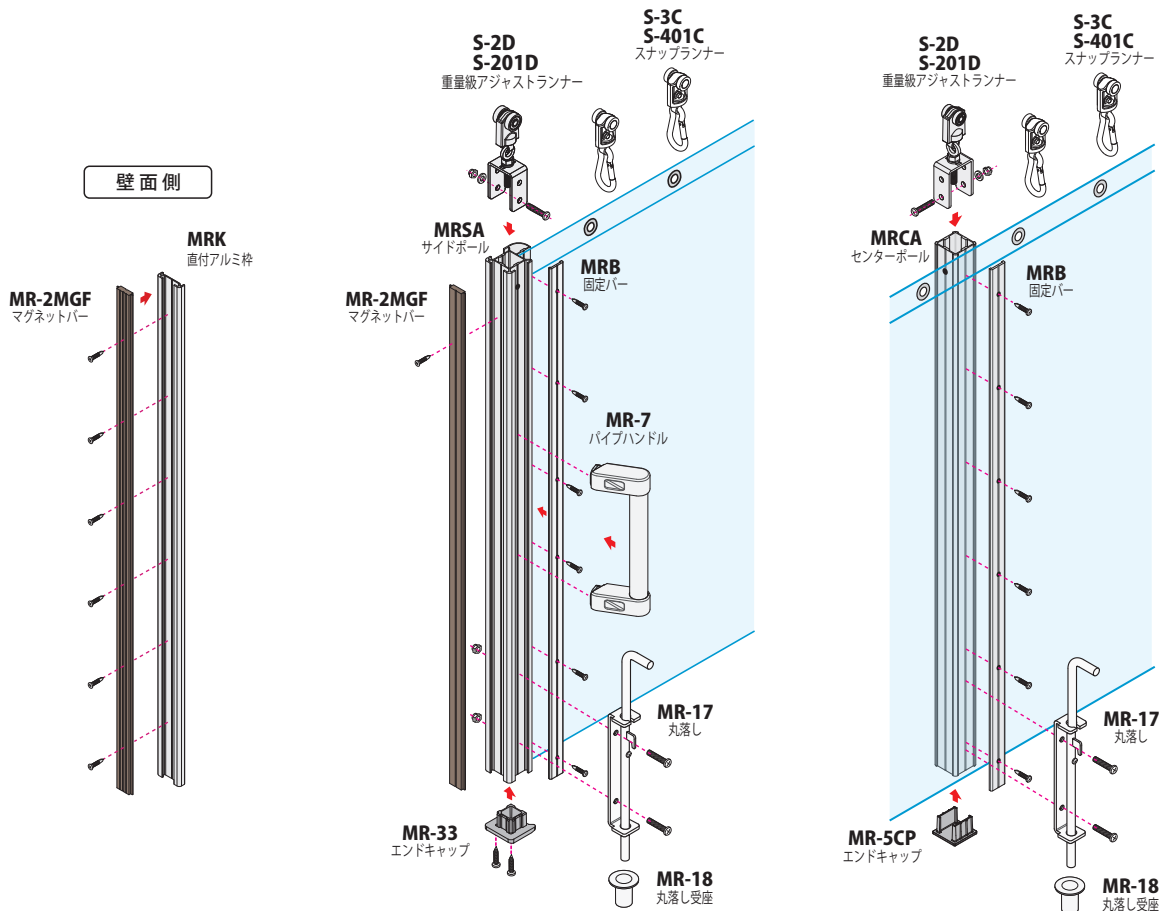
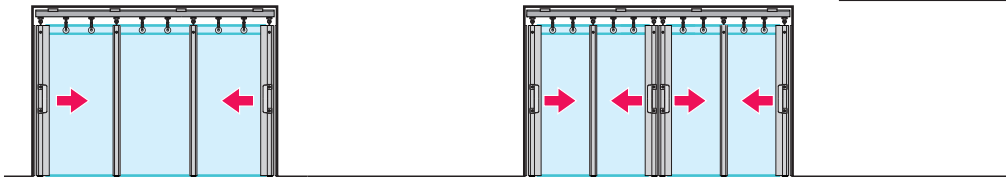
●ビニールカーテン+開閉ユニット (センターポール込)

外部面に接する開口の場合風圧によるシートのバタつきを軽減できる他、シートの耐久性にも繋がります。

※センターポールは1m~2m間隔で取り付けてください。

片開き

両開き



製造・販売元



Web <https://www.hinaka.co.jp/>

e-mail info@hinaka.co.jp

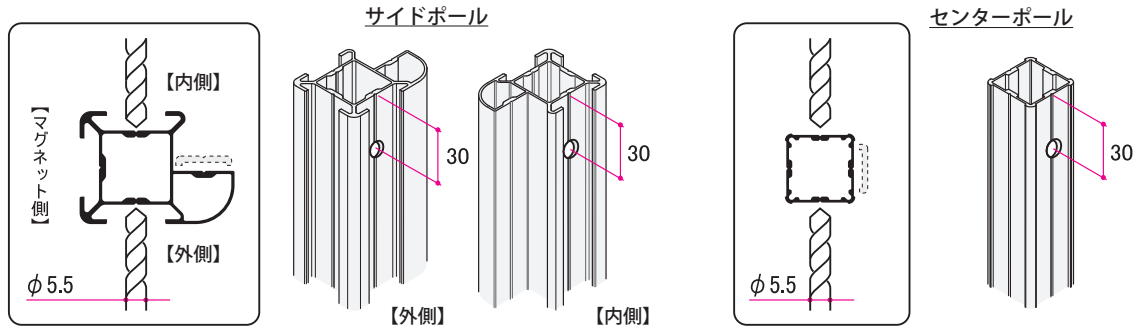


※製品改良の為、記載内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

【5】開閉ユニットを組み立てる (例) 標準型開閉ユニットの場合

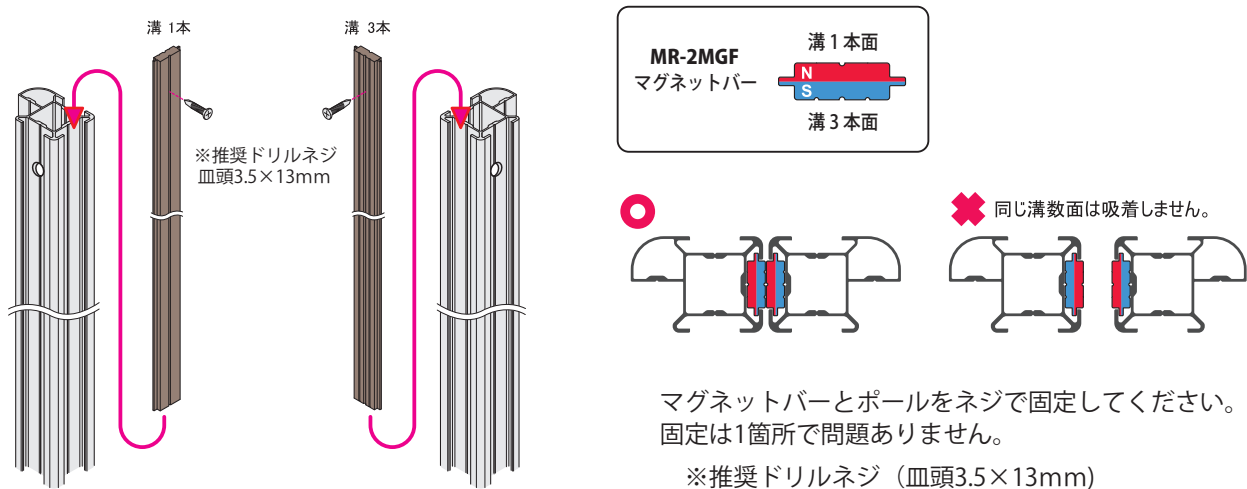
① ポールの吊り穴をあける

中央溝部に沿って上面より30mm下がった位置に $\phi 5.5$ mmのストレート穴をあけます。



※一度に貫通させず、必ず片側ずつ作業をおこなってください。

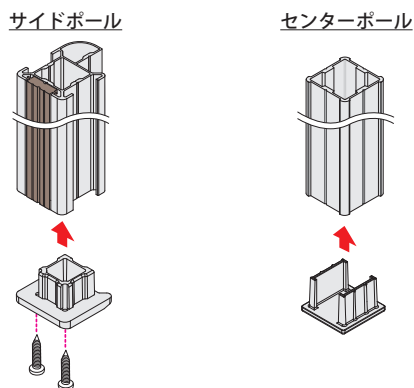
② マグネットバーを挿入する



マグネットバーとポールをネジで固定してください。
固定は1箇所でも問題ありません。

※推奨ドリルネジ (皿頭3.5×13mm)

③ ポールの端部にエンドキャップを取り付ける



安全のため、ポールの端部(下側)にエンドキャップを
嵌め込んで固定してください。

※アルミ切断端部の接触で怪我をする恐れがある為
エンドキャップの装着を推奨します。



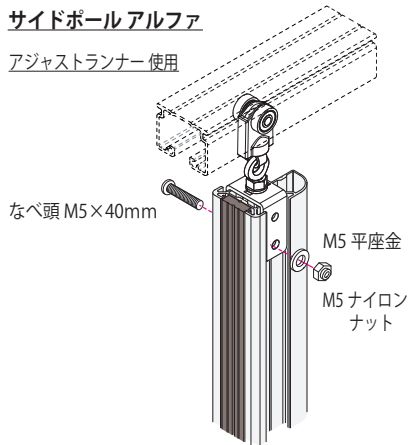
【8】開閉ユニットの吊下げ方法

1 組み立てたポールを吊下げる

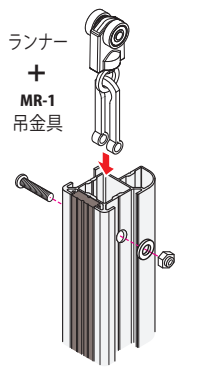
ポール吊り用ランナーに付属のネジをポール吊穴に差し込み、抜けない様にナイロンナットで締め付ける。

サイドポール アルファ

アジャストランナー 使用

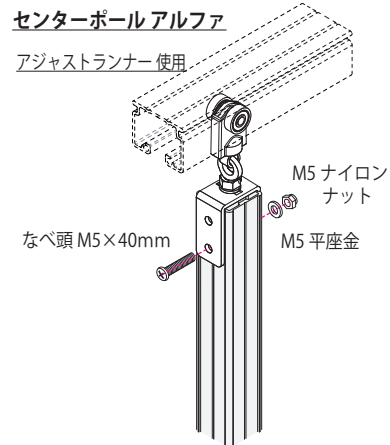


吊金具を使用する場合

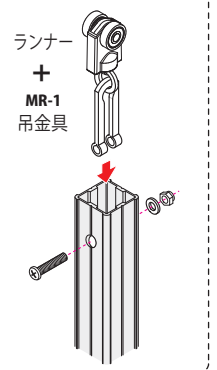


センターポール アルファ

アジャストランナー 使用



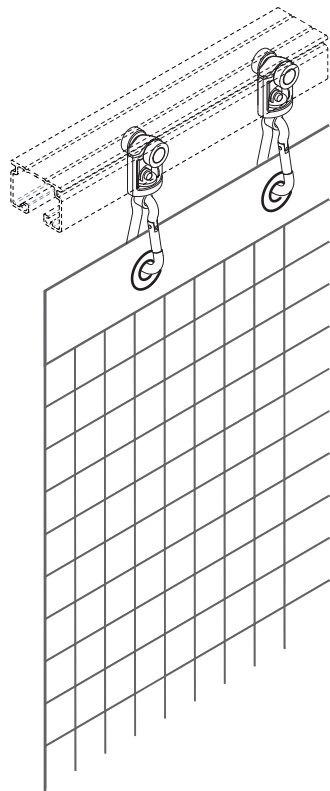
吊金具を使用する場合



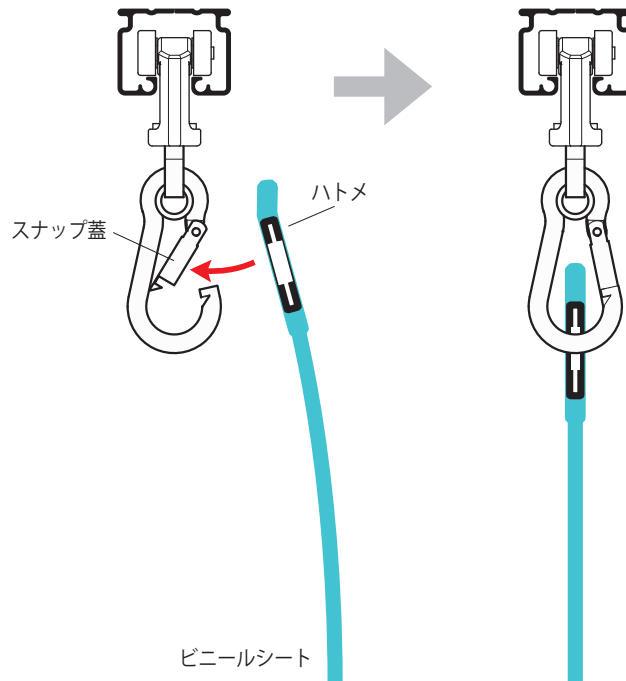
⚠ ビニールカーテンのみの場合は吊ランナーは必要ありません。

2 ビニールカーテンを吊下げる

スナップランナーをビニールシートのハトメ孔の順番に掛けていく。



スナップの蓋をあけて ビニールシートのハトメ孔を通します。



仕切レール

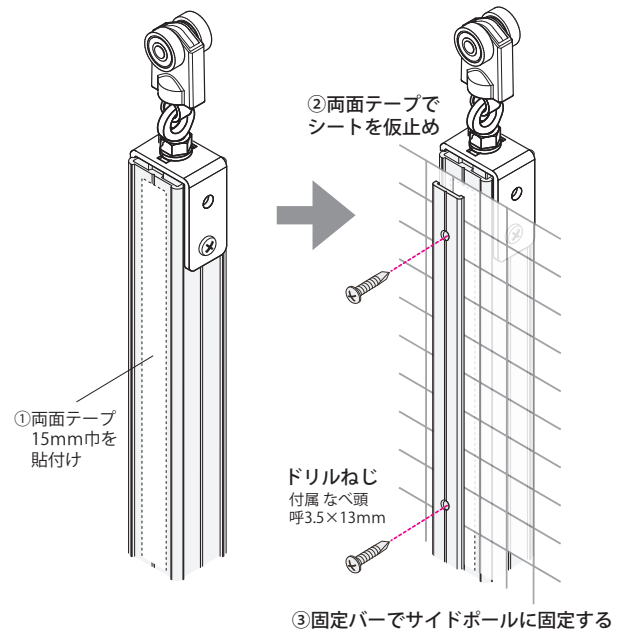
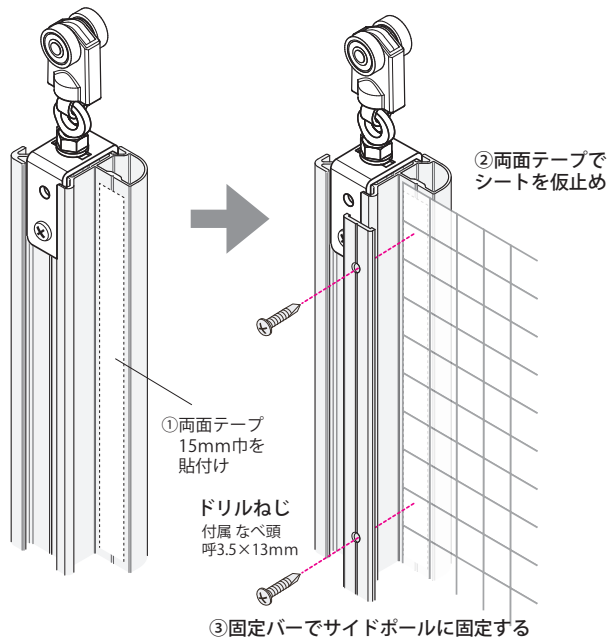
【8】開閉ユニットの吊下げ方法

3 ポールとビニールシートの取り付け

ビニールシートを両面テープで仮止め後、固定バーをドリルねじで押さえ取り付ける。

サイドポールアルファ

センターポールアルファ

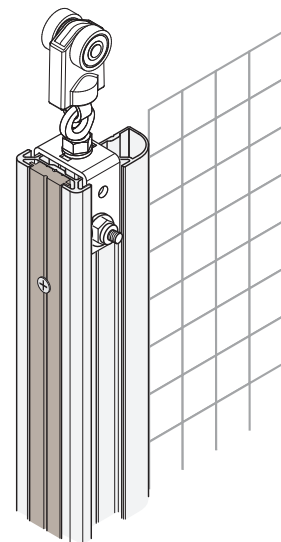
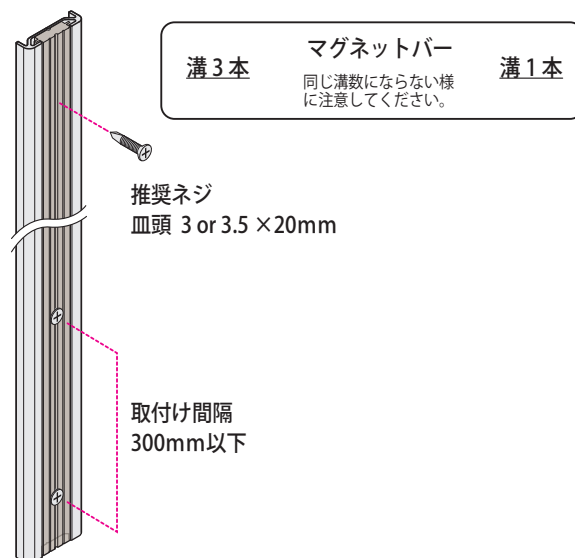
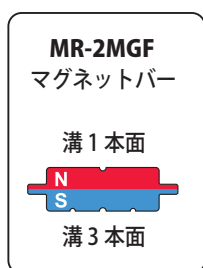


※サイドポールとシートを吊下げてから、固定するとより水平な取付けができます。
注意) 高所作業となりますので注意して施工してください。

【9】直付アルミ枠の組み立て方法

片開きの場合

マグネットバーをサイドポールのマグネットバーの向きに注意して、直付アルミ枠に挿入する。
下地にあった皿頭ドリルねじで アルミ枠ごと取付ける。

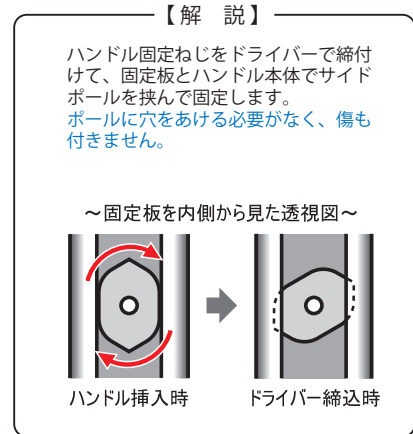
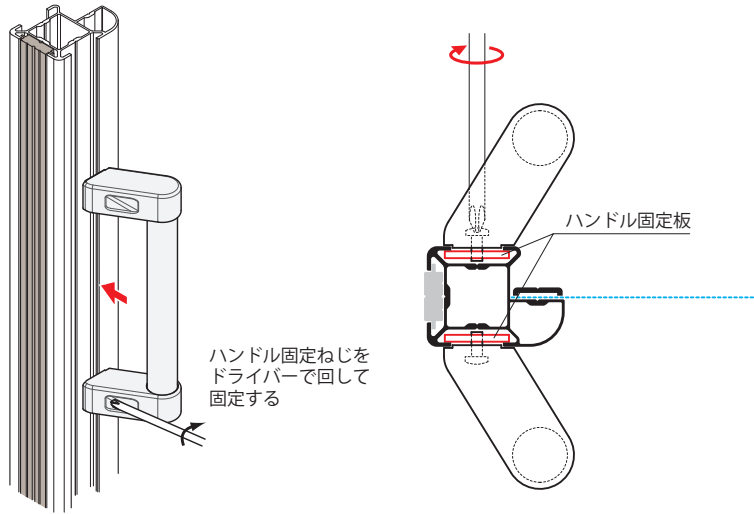


製造・販売元



【10】 ハンドルの取り付け

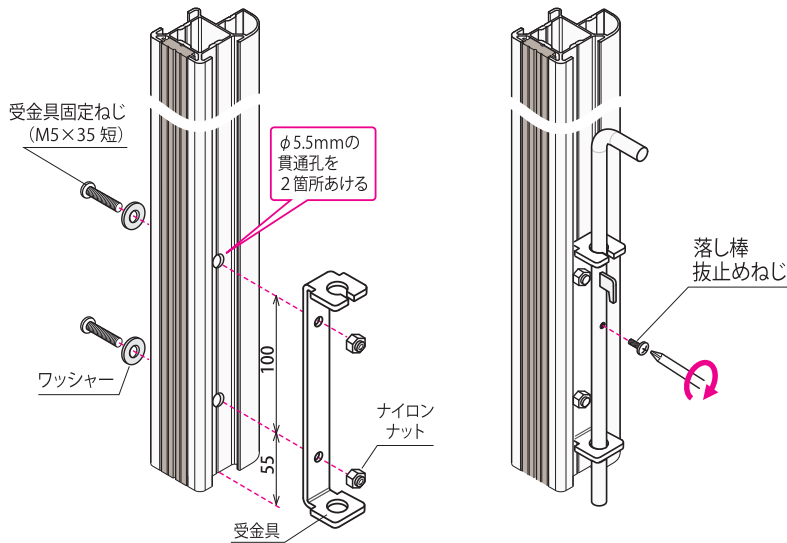
ポール吊下げ後 サイドポールの使いやすい位置に取付けできます。



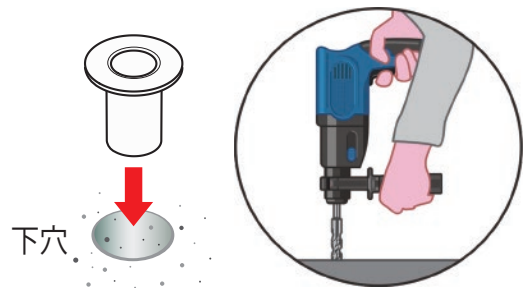
【11】 丸落しの取り付け 風対策が必要な場合

受金具をサイドポール (センターポール) 下部に取付けて使用してください。

- 1) $\phi 5.5$ の貫通孔を2箇所あけ 付属ねじ・ナットで固定する。
- 2) 落し棒を差込んで、抜止めねじを取り付けて完成。



床面への丸落し受座の下穴施工にはハンマードリルが必要です。お持ちでない場合は専門取付業者へ依頼される事をお勧めします。

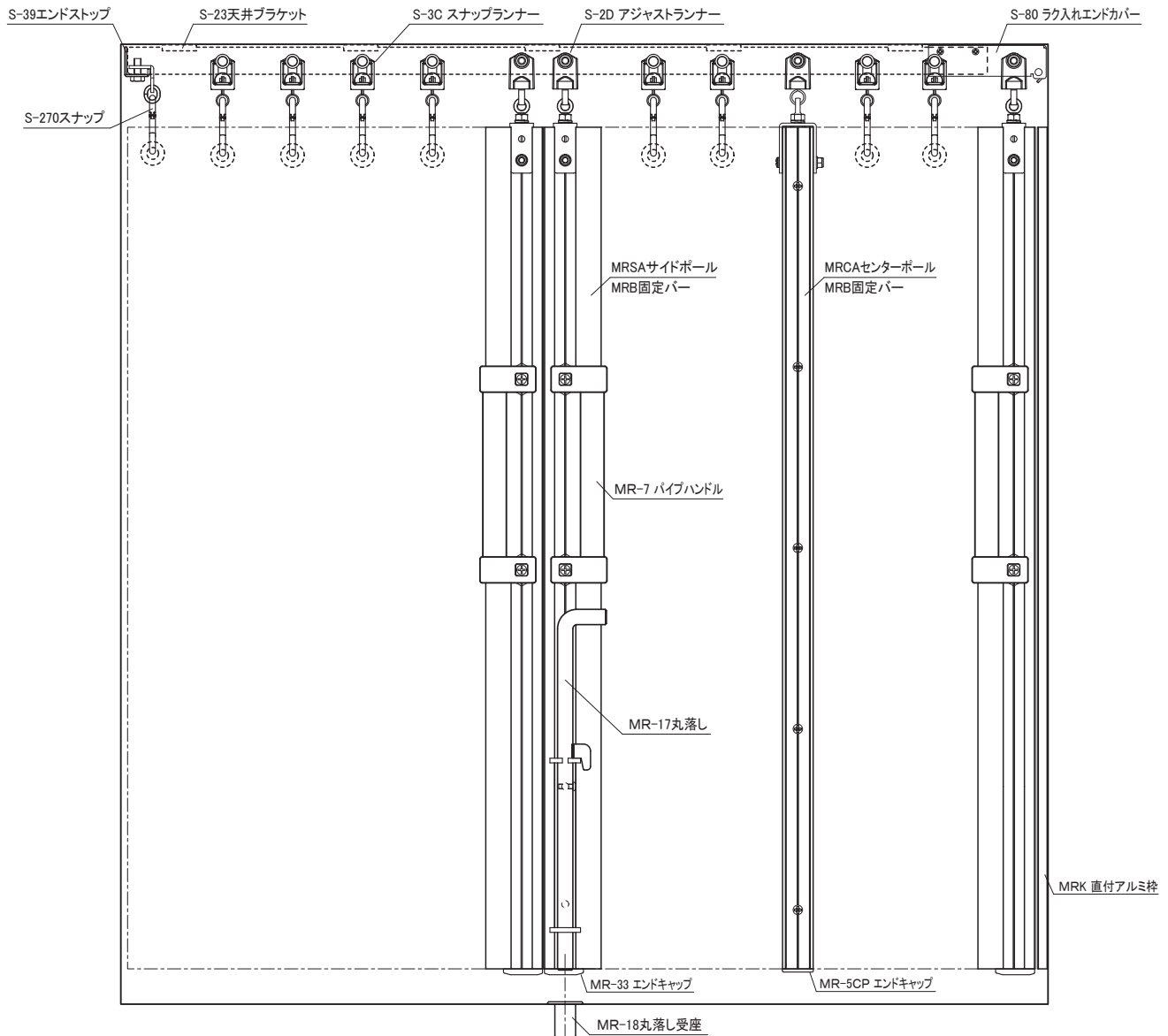


MR-18の場合下穴直径18mm、深さ30～50mmが必要です。



【12】仕切レール組立完成図 (例) レクト30の場合

ビニールカーテン+開閉ユニット「両開き」の場合 ※右側：センターポール込み+ラク入れエンドカバー付き



ラク入れエンドカバーを使用されない場合は、予め使用するランナーのタイプ、個数、順番に注意してレールに挿入してください。開口部の枠内などカーテンレールのエンドキャップが簡単に外せない場合には、再度レールを外す必要があります。ランナーやビニールカーテンの交換にも便利なラク入れエンドカバーのご使用を推奨いたします。

製造・販売元



HINAKA GROUP

Web <https://www.hinaka.co.jp/>

e-mail info@hinaka.co.jp

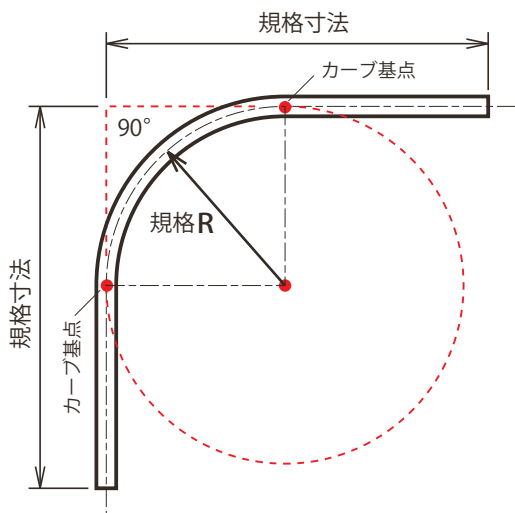


※製品改良の為、記載内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

仕切レール (大型カーテンレール、開閉ポール)

【その他】カーブレール

1 カーブレールの寸法

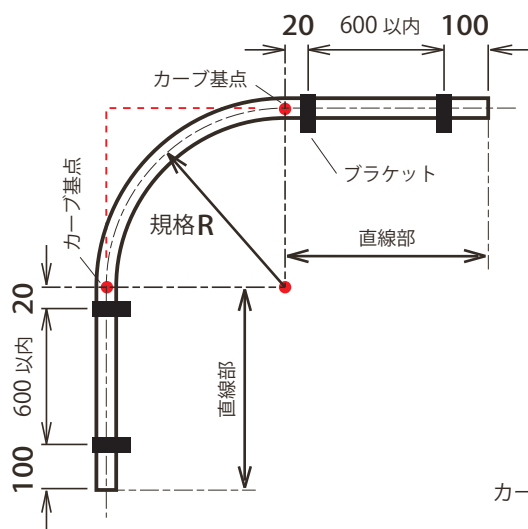


カーブレール規格寸法 ※R値はメーカー規格のため変更はできません。

カーテンレール種類	規格 R	規格寸法
アルトライン	500 mm	910×910 mm
レクト40 ステンレス	515 mm	910×910 mm
レクト40 アルミ	500 mm	910×910 mm
レクト40 スチール	490 mm	800×800 mm
レクト30 ステンレス	345 mm	910×910 mm
レクト30 アルミ	330 mm	910×910 mm
レクト30 スチール	315 mm	910×910 mm
レクト24 アルミ	210 mm	910×910 mm

2 カーブレールの取り付け

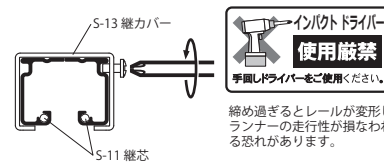
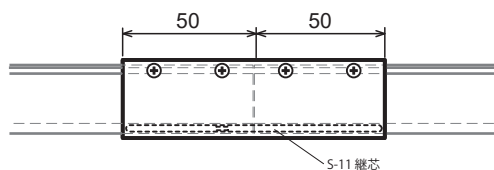
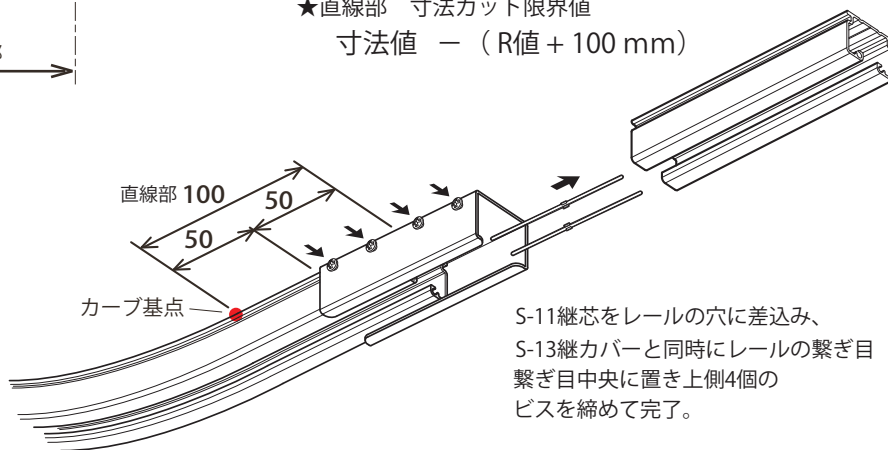
ブラケットの取り付け位置にご注意下さい。



設置環境によりそのまま使用できない場合は寸法カットしてください。

直線レールと繋ぐにはカーブ基点から最低100mmの直線部分を残す必要があります。

★直線部 寸法カット限界値
寸法値 - (R値 + 100 mm)



製造・販売元



Web <https://www.hinaka.co.jp/>

e-mail info@hinaka.co.jp



※製品改良の為、記載内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

仕切レール (大型カーテンレール、開閉ポール)

【その他】天井吊り

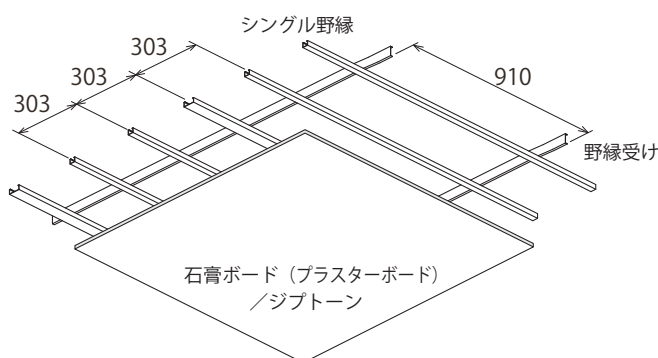
1 天井の一般的な構造例

カーテンレールを天井面から下ろして取り付ける場合、天井面の下地の位置 及び その下地が十分な強度、耐久性を有しているのか 事前に確認が必要です。

下地がない、また 下地強度が持たない天井面にはカーテンレールを取り付けしないでください。落下による製品破損や怪我をする恐れが有りたいへん危険です。

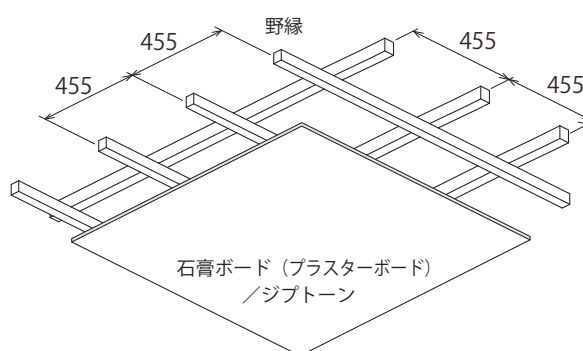
鋼製天井下地

シングル野縁 巾25mm ピッチ303mm



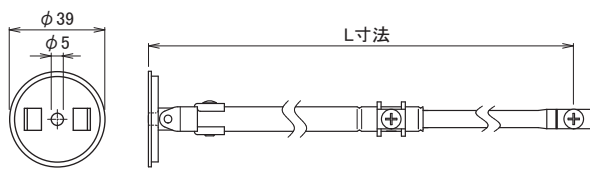
木製天井下地

野縁 巾39mm ピッチ455×455mm

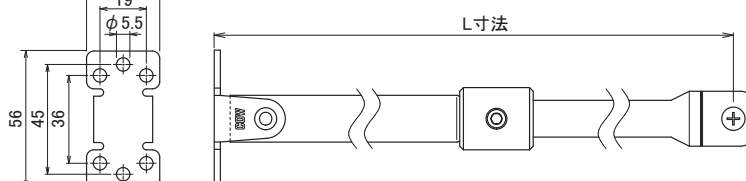


2 吊棒の種類と寸法調整範囲

伸縮吊棒 V吊時 耐荷重 15 kg

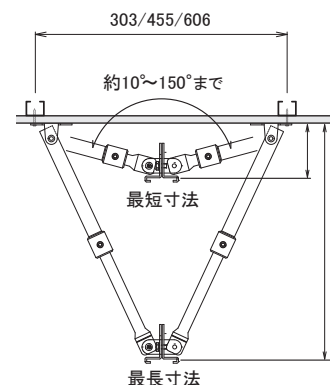


大型伸縮吊棒 V吊時 耐荷重 160 kg



規格伸縮寸法 と カーテンレール天井吊下げ高さ 調整範囲

品名	規格L寸法	カーテンレール天井吊下げ高さ 調整範囲		
		303mmピッチ	455mmピッチ	606mmピッチ
伸縮吊棒 大	1,595~840 mm	1,600~856 mm	1,593~840 mm	1,580~816 mm
伸縮吊棒 中	855~470 mm	856~477 mm	840~446 mm	816~397 mm
伸縮吊棒 小	485~285 mm	478~277 mm	448~215 mm	400~107 mm
伸縮吊棒 ショート	300~200 mm	279~172 mm	220~85 mm	—
大型伸縮吊棒 大	1,600~865 mm	1,605~880 mm	1,597~864 mm	1,586~841 mm
大型伸縮吊棒 中	880~505 mm	881~513 mm	866~484 mm	843~438 mm
大型伸縮吊棒 小	520~325 mm	514~320 mm	485~267 mm	442~150 mm
大型伸縮吊棒 ショート	340~235 mm	322~214 mm	272~100 mm	173~120 mm



S-122/S-22A 吊ブラケット使用時
天井面からレール天面までの寸法

製造・販売元



Web <https://www.hinaka.co.jp/>

e-mail info@hinaka.co.jp



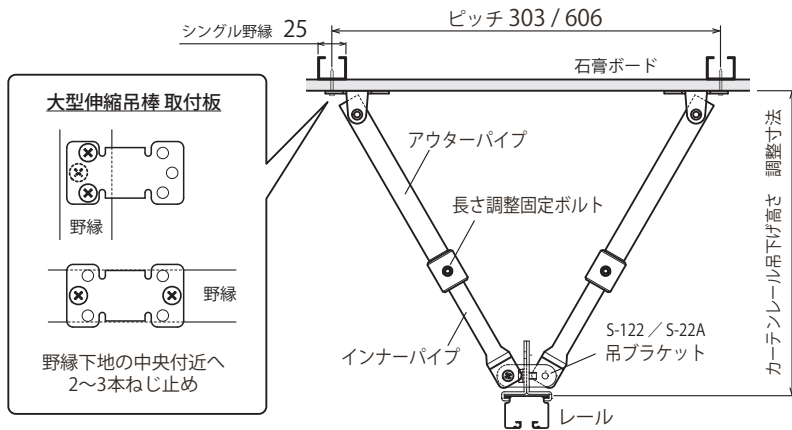
※製品改良の為、記載内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

仕切レール (大型カーテンレール、開閉ポール)

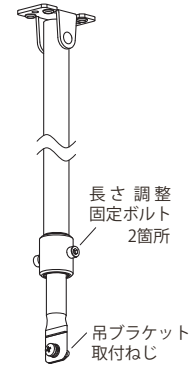
【その他】天井吊り

3 天井下地への取り付け方 鋼板天井下地、大型伸縮吊棒の場合

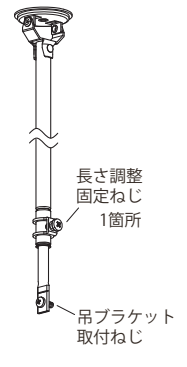
大型伸縮吊棒をレール取り付け完成図



大型伸縮吊棒
取付穴 6箇所



伸縮吊棒
取付穴 1箇所

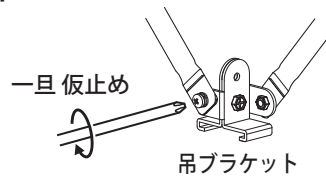


- 1) 天井に取付ける位置へ墨出しする。
- 2) 大型伸縮吊棒の取付板を下地に合ったねじで天井下地にしっかりと取り付ける。

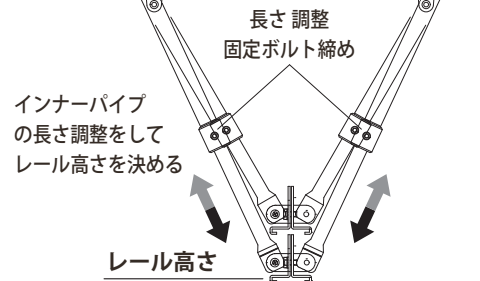
●取付けピッチ
アルトライン・レクト40 900mm以内
レクト30・レクト24 600mm以内

取付けねじ なべ頭
タッピング 呼4×20 以上推奨

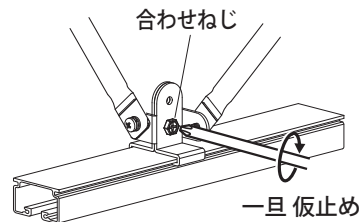
- 3) 左右の大型伸縮吊棒を吊ブラケット取付穴に一旦仮止めする。



- 4) レールの高さが決まったら、左右の大型伸縮吊棒の長さ調整ボルトを締め込んで固定する。



- 5) 吊ブラケットの合わせねじを若干緩め、レールを挟んでから仮止めする。



- 6) 最後に全ての仮止めしたねじをしっかりと締め込んで完了。

製造・販売元



Web <https://www.hinaka.co.jp/>

e-mail info@hinaka.co.jp



※製品改良の為、記載内容は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。